

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～八代市立東陽中学校での実践～



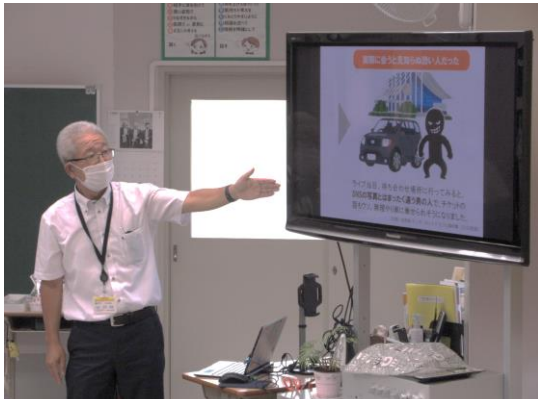
【八代教育事務所】

～学級活動での「親の学び」次世代編の活用～

【講座の説明】

各学年の生徒の実態に合わせ、次のプログラムを参考にして講座を行いました。

- ・「次世代編Ⅱ プログラム5：私の主張と親の主張、どちらも納得するには？～SNSの利用を通して～」



【SNSの危険性について説明している様子】



【私の意見、親の意見についてロールプレイしている様子】



【オンラインで授業に参加している生徒と一緒にアイスブレイクしている様子】

【講座の日程等】

実施日：令和4年7月8日（金）

時間：5校時（14：20～15：10）

場所：八代市立東陽中学校（音楽室）

対象：第1学年、第2学年、第3学年の全生徒

進行役：木本 芳照トレーナー

【プログラムの実際】

- ① 講座の「目的」「学び方」について確認する。
- ② アイスブレイク
- ③ メインプログラム（アレンジ）
 - ・私の意見と親の意見～スマホの利用を通して～
- ④ 振り返り
- ⑤ まとめ

【生徒の感想】《1年生①、2年生②、3年生③》

- ① 正しく使わないと事件などに巻き込まれやすいということを改めて分かったので、正しい設定をしたりして、安全に使うようにしようと思った。
- ① グループで親子の立場で言い合ったら、親と子のどちらの気持ちも分かったけど、親の言うことのほうが正しく感じました。
- ② 親と子の主張をそれぞれ考えて、どちらの考え方も正しいと思いました。考えを受け入れてルールを作るといいと思った。
- ② 私はついやりすぎてしまうので、目的、時間を決めていこうと思った。家族との時間を増やしていきたい。
- ③ 親と子の立場になって考えて、どちらにも賛成できる部分があったので、使い方をしっかり考えようと思った。
- ③ 改めてスマホ・SNSの使い方を見直し、相手のことを考え、目的に合った使い方をしたい。

【参観者の感想】

- スマホやSNSの危険性について学び、ロールプレイを行うことで、親と子の立場になって考えることができていたと思う。
- 生徒が安心して意見交流ができる雰囲気があり、積極的に班で意見交流を行い、学びを深めていた。
- オンラインで参加している生徒も一緒に最後まで楽しく活動に参加していた。